

2023年10月1日

中東関係者各位

九門康之

「中東なう」(旧中東レポート) 2023年9月

中東動向の短信レポートです。

➤ エジプト、国内産業育成に注力する

マドブリー首相は、エジプト国内での自動車生産促進のため、インセンティブを付与する考えを示した。すでに、欧米日韓国などの自動車メーカーがエジプトでの現地生産を行っているが規模は小さい。エジプトとしては南アをモデルとして自動車産業を育成したい考え。

産業の背景となる国内インフラの整備も進めている。カイロ北東部の新首都との間に高速道路や近郊鉄道を建設。新首都はテンス・ラマダダーン工業地区に隣接している。また、工業団地を併設したシックス・オクトーバー地区を新たな交通のハブにする計画もある。

資金調達面で中国との関係を深めており、2022年までにアジアインフラ投資銀行(AIIB)から1,220億ドル(承認ベース)の融資を獲得した。なお、2023年度のAIIB年次総会はエジプトのリゾート、シャルム・エル・シェイクで開催された。

➤ サウジアラビア、地産地消を推進

サウジアラビアが産業用消費材の国内生産を強化している。パブリック・インベストメント・ファンド(PIF)がサウジアラビア国内にあったハディード製鉄所を民間資本と共同で買収。分散していた製鉄事業を集約していく考え。

非石油経済育成の観点から、不動産やインフラ投資に力を入れている。製鉄はこれら事業展開に不可欠である。また、同様の観点からセメント産業も重要であるが、こちらはすでに国内生産基盤が整っている。

➤ イラク、国内安定化と近隣外交

イラクが国内安定化と近隣諸国との外交関係正常化を模索している。国内ではキルクークで一時治安が不安定化したが、9月初めには夜間外出禁止令が終了するなど快方に向かった。近隣外交では、クルド問題で対立するトルコとの関係正常化を模索。解決には時間を要すると思われるものの、トルコとイラクを結ぶ産業道路建設案など前向きな話題もある。サウジアラビアとは、電力グリッド接続プロジェクトに調印した他、バグダッドからの航空便強化を話し合っている。イランとは、イラク国内の反イラン民兵取締で成果があったと報道された。

➤ その他の動き

●サウジアラビア、パレスチナ大使がアッバース大統領に信任状を提出●エジプト、高速道路建設で「死者の街」（カイロ北部にひろがる墓地地区）移転へ●UAE、ゲーム規制庁設置●カタール、英デイリー・メール社と買収交渉●イエメン、フーシー派代表がリヤド訪問●イラン、サウジアラビアのサルマン国王に親書、関係強化を訴える●イスラエル、サウジアラビア建国記念日に祝意●トルコ、中国が原子力発電所建設へ●サウジアラビア、原子力発電参入に向けた動き●ドバイ、新住宅地区パーム・ジュベル・アリが人気●

ご参考：情報収集手法

本レポートは、主に中東各国の電子メディアを継続してモニターして得た情報を材料にしています。マクロ経済・金融統計数値の出所は、IMF、地場中央銀行統計等です。コメントは筆者の個人的見解です。

以 上